学校番号	1009

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『国語表現　改訂版』（大修館）						
副教材等	国語常識の演習と整理　プライム常用国語　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業内容は、一般常識・表現という２つの柱を基本にしている。
一般常識は主に問題集をテキストとして使用する。
表現はスピーチ、ディベート、創作（川柳、俳句、詩）などを通して、自己表現力を育む。
就職を希望する者は、受講することが望ましい。

2　学習の到達目標

日本語で適切かつ効果的に表現する能力の育成をめざす。
伝える力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばす。言語感覚を鋭敏にし、積極的に表現する態度を育み、社会生活の充実を図る契機とする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・観察 ・ワークシート ・発表 ・作品 ・相互評価、自己評価 ・小テスト	・観察 ・ワークシート ・発表 ・相互評価、自己評価	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価		・ワークシート ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
a1学期	書いて伝える	・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。	○		◎		○	a:授業に積極的に参加する。 b:説明をしっかりと聞く。 c:自分の考えをまとめ、適切に表現し正確に伝える文を書く。 e:正しい漢字や表現を使う。	・観察 ・提出物 ・自己評価
	議論・発表	・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。	○	◎			○	a:議論に積極的に参加する。 b:相手の主張をよく聞き、自分の主張を正確に伝える。 c:正確に記録する。 e:正しい言葉遣いで離す。	・観察 ・ワークシート ・発表 ・相互評価、自己評価
2学期	小論文・レポート入門	・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	○		◎		◎	a:授業に積極的に参加する。 b:説明をしっかりと聞く。 c:自分の考えをまとめ、適切に表現し正確に伝える文を書く。 e:正しい漢字や表現を使う。	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
	ポスター制作	・イベントなどの効果的なコピーを考える。 ・写真やイラストなどとコピーを効果的にレイアウトして、魅力的なポスターを作る。魅力的なポスターを作ろう。	○	○	◎		○	a:授業に積極的に参加する。 b:説明をしっかりと聞く。 c:相手の興味関心を引く作品をつくる。 e:正しい漢字や表現を使う。	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
3学期	詩歌を楽しむ	・さまざまな詩歌の鑑賞をふまえて、表現を工夫しながら詩・短歌・俳句を創作する。	○	○	◎		○	a:授業に積極的に参加する。 b:説明をしっかりと聞く。 c:自分の考えをまとめ、豊かにに表現する作品をつくる。 d: e:正しい漢字や表現を使う。	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。